

# 社会資本総合整備計画

おぎ ちゅうしん きよてん ちく  
小 城 中 心 拠 点 地 区 の 賑 わ い の 再 生

( 第 1 回 変 更 )

平 成 29 年 11 月

佐 賀 県 小 城 市

社会資本総合整備計画

平成29年11月

計画の名称	1 小城中心拠点地区の賑わいの再生							重点配分対象の該当	○				
計画の期間	平成28年度～平成29年度(2年間)			交付対象	小城市								
計画の目標	<p>大目標：『多世代が共生した賑わいと風格のある中心拠点の形成』          ～キャンパスと歴史的空間が織りなす人・文化が調和したおもてなしと思いやりのあるまちづくり～          目標1：高等教育機関(大学)の誘致を契機とした、公民連携によるコミュニティの再生と定住人口の拡大          目標2：地域資源を大切にしたい、歩きたくなる魅力的な都市・商業空間づくり</p>												
計画の成果目標(定量的指標)													
<ul style="list-style-type: none"> <li>近年減少傾向にある小城拠点地区の人口 2,369人を 2,370人に維持</li> <li>小城拠点地区内の3箇所の歩行者・自転車通行量 1,882人/日を 2,000人/日に増加</li> </ul>													
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値					備考			
					当初現況値 (H26年度)		中間目標値		最終目標値 (H29年度)				
定住人口					2,369人/日		-		2,370人/日				
歩行者・自転車通行量					1,882人/日		-		2,000人/日				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		85.4百万円	A	85.4百万円	B	0.0百万円	C	0.0百万円	D	0.0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32				
A-1	都市再生	一般	小城市	直接	小城市	都市再生整備計画事業 小城中心拠点地区	A=56ha、大学の周辺整備等	小城市						85.4			
									合計					85.4			

B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32				
									合計					0			

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
									合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
									合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

交付金の執行状況

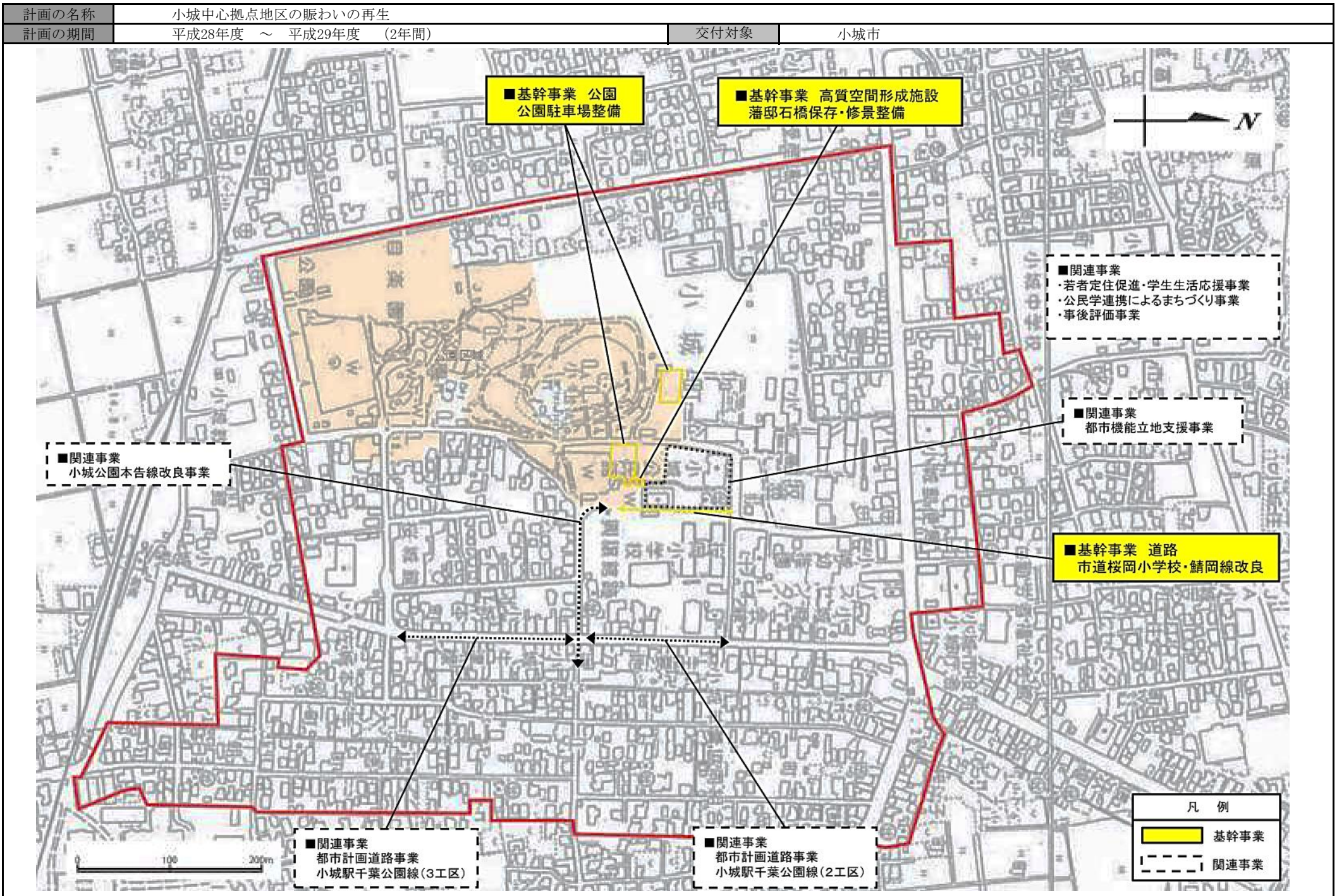
(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	22.1				
計画別流用 増△減額 (b)	0.0				
交付額 (c=a+b)	22.1				
前年度からの繰越額 (d)	0.0				
支払済額 (e)	17.8				
翌年度繰越額 (f)	4.3				
うち未契約繰越額 (g)	0.0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0				
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0				
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

# 参考図面



(参考)年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業								
事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
都市再生整備計画事業	小城中心拠点地区	小城市	85.4	40.1	45.3	0.0	0.0	0.0
計			85.4	40.1	45.3	0.0	0.0	0.0
効果促進事業								
事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計			85.4	40.1	45.3	0.0	0.0	0.0
累計進捗率 (%)				47.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 小城中心拠点地区都市再生整備計画 事業主体名: 小城市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	<input type="radio"/>
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>